

～男女共同参画社会を目指して、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けて～

キラッと★スマイル 八戸ナビ 16

固市民連携推進課 ☎43-9217

八戸国際交流協会 交流促進部会長 たかはし かおる 高橋 薫さん

○プロフィール

夫と長男夫婦、6月に生まれた孫との5人暮らしです。孫の誕生後2カ月間は、はっちのボランティアガイドを「育休」と称してお休みし、孫の子育てを楽しんでいました。

○国際交流協会について

協会員になって20年以上経ちます。交流促進部会では、例年ハロウィンツアーや国際交流フェスタなどのイベントを企画しています。今年度は中止した事業もありますが、例えばハロウィンは仮装の写真コンテストを行うなど、方法を工夫しながら活動中です。

○グローバルな民泊を経営

平成29年に開業しました。不安もありましたが、これまでも日本語教室の生徒やALITを自宅に招いて交流を深めることがあり、さまざまな国の話を聞ける楽しみもありました。実際に宿泊客との交流が楽しく、その国の料理と八戸の郷土料理を教え合ったり、自称八戸大使として八戸の名所を案内することも喜んでいただくと嬉しくなりまし、自分自身も、さまざま



高橋薫さん(左)と宿泊客の交流の様子

な国の人との交流を通じて世界は繋がっていると感じます。
○両立のために大切なこと
すべての活動が自分の興味から始まりましたが、一人だけで突き進むのではなく、夫の理解や協力があるからこそ続けられていると思います。特に民泊は、夫と一緒に楽しめる良さがあります。また、以前は親の介護もあり時間が足りないと思ったりもしますが、姉とも協力したり、施設を活用したりしながら、今は自分の時間を作ることができています。

○今後の目標について

コロナ禍で3月から民泊は閉じていますが、いずれ再開し、軌道に乗ればと考えています。夫とも協力しながら、無理せず続けていきたいです。

新 美術館だより ③

固新美術館建設推進室 ☎45-8338

人が集まり、活動が広がるジャイアントルーム

(学芸員 たむらゆい 田村由衣)

○美術館で何をする？

美術館では展覧会やワークショップ、講演会を開催するほか、展覧会の準備や作品の調査研究・保存などが行われています。では、八戸市の新しい美術館を訪れた皆さんはどんなことができるのでしょうか。

○大空間「ジャイアントルーム」

美術館の特徴のひとつに、エントランスから広がる大きな空間「ジャイアントルーム」があります。このジャイアントルームは展示室やスタジオなどの諸室と繋がっており、自由に集まり、学び、活動できる場になります。例えば、鑑賞した作品について休憩しながら友人と語り合ったり、ワークショップで意気投合した人と企画を考えたりする。もしお披露目したい作品があればギャラリーを使用して展示するほか、ギャラリーを飛び出してトークイベントを行ってみる。このようにジャイアントルームには多様な活動の可能性があります。

○八戸の未来を創る

新しい美術館は、ジャイアントルームをはじめとするさまざまな部屋から出会いや学びが生まれ、それが新たな力となって地域全体へと広がり、未来の八戸を創っていくことを目指します。開館後、皆さんとジャイアントルームで会えることを楽しみにしています。



美術館俯瞰パース

ホームページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp>
 携帯電話向けページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/m/>
 Twitter <https://twitter.com/HachinoheCity>
 Facebook <http://www.facebook.com/HachinoheCity>



ホームページ



携帯用HP



LINE



「広報」「市議会だより」が閲覧可!